

No. 1265

春の交通安全

4月6日から4月15日まで、春の交通安全運動が実施されている。

東京都の神宮外苑には1700名の交通少年団が集い、交通安全の誓いを改めて確認しあった。交通少年団とはみんなの模範となつて、進んで交通ルールを守ろうとする少年少女たちだ。婦人警察官の鼓隊や白バイの行進など華やかなアトラクションに彼らの瞳は輝いていた。

警視庁では更に、交通安全教育の推進、交通安全思想の普及を企図し、移動教室わかき号を街に派遣する。

ある下町の公園。遊んでいた子供たちに婦警のお姉さんたちは語りかける、紙芝居を通じて解りやすい横断走道の渡り方。また手づくりの縫いぐるみ人形も登場して、みんなで一緒に横断訓練。

このお姉さんたちの優しい笑顔を曇らせないよう、子供たちは正しい交通ルールを守ることを約束したようだ。

星野、入魂の完投勝利

— 中日・巨人第一戦 —

1978年度ペナントレース、セリーグ中日対巨人の第一戦は4月7日ナゴヤ球場に2万5千の観衆を集めて行なわれました。巨人がライトを送れば中日はエース星野で万全を期します。星野はエースの面目にかけて王を三振に打ち取るなどすばらしいピッチングを展開。ライトも再三ランナーを出しながらも要所をしめ、スコアボードには0が並びます。巨人は5回表2死後2塁に柳田おいてルーキー山倉がセンターオーバーのタイムリーヒット、先制点を上げます。中日は6回裏木俣がファウルで粘った後の12球目をレフトスタンドに逆転の2ランホームラン。中日ファンを沸かせます。この後星野は絶妙のコントロールで力投を続けます。最後のバッター王も投ゴロ。星野自らライン際で王にタッして試合終了。星野は今季巨人から初白星を完投で飾りました。